

全体会

「ぎふ木育大交流会」のふりかえりを行い、次への一歩を考えました。

参加者：約60名

Q: ぎふ木育大交流会で得たこと・学んだことは何ですか？

- 森のようちえんのスタッフと親の想いのギャップは、いつの間にか埋まっているものだと気付いた。
- 森のようちえんのスタイルが気になる人と気にならない人の間の溝も、子どもと一緒に見ていれば埋まると思付いた。
- 自分の家庭を子どもが安心できる場所にしたいと思った。これは私にも出来る。
- 「森のようちえん」も「プレーパーク」も大事なことは一緒。みんなつながっていると気付いた。
- 「活動」に注目されがちだが、むしろ日常の暮らしの積み重ねのほうが大事だと気付いた。
- 相手の家庭の背景によって、(森のようちえんが)受け取ってもらえるかどうか、受け取り方が違うと気付いた。
- 森のようちえんと普通の園では一見同じようなことをしているようでも、そのきっかけの考え方方が違う。お母さんだからこそ出来ることがある。
- 森のようちえんと普通の園が平等に選べるようになるといい。
- 子どもを信じるということは、子ども自身の「生きたい」「成長したい」を大事にすることだとわかった。
- 「子どもを育てる」ことはイコール「孫を育てること」。つまり、自分の与えた影響がその子の子育てに影響する。



Q: 「これから自分にも出来ること（やってみたいこと）」は何ですか？

- フリースクールをつくる！
 - 市民側の心の器を広くする（行政の立場も理解し、一緒に話せるように）。
 - 行政と話をする場を自分でも企画してみようかなと思っています！
 - 森づくりに関わりたい。技術を学びたい。
- >>> 以下、アンケート的回答から抜粋
- 自分は、考え方を広げる活動をしていきたい。
 - 地域の山を子どもの遊べる山にする。地域の人に理解していただくことは自分にも出来る。
 - 森のようちえんの活動に積極的に関わっていきたい。森のようちえんの良さ、やりたい意欲をアピールしていく、多角的アプローチをしていきたい。
 - 地区内唯一の娘の同級生のお母さんに自然を活かした保育をしようと誘ってみようと思います。

Q: 行政に期待することは何ですか？

- 担当者がコロコロ変わらないこと。
 - 地域住民との調整、コーディネート。
 - 今回の大交流会のような行事に、教育委員会や子育て分野など、分野を横断的に関わってほしい。
 - 県のお墨付きで広めていってほしい。
 - 普通の園と同じ選択肢の中で選んでもらえるようしてほしい。
 - 小規模でもいいので、市民と行政と一緒に話せる場を設けてほしい。
 - わが市は第3子は幼稚園保育園の費用がタダなので、同じように森のようちえんも援助してほしい。
 - 安心安全な森づくりをすすめてほしい。
- >>> 以下、アンケート的回答から抜粋
- 担当部局をまたいで、森林、公園、子育て、地域振興など各施策を融合させた取組みを県にお願いしたい。現在プレーパークで活動しているが、行政からの援助がより幅広く得られると思われる。
 - 学校生活で選択できることを広げてほしい。特に中学校の学習や部活などの締め付け・管理を軽くしてほしい。
 - 空き家を利用しておうちプレーパークしたいので、このような企画にそれぞれの市職員が参加してほしい。地域の方とのパイプ役になって、空き家や田畠を使ってほしい人と使いたい人をつなげてほしい。
 - たき火で日常的に遊べる遊び場を整備してほしい。
 - 活動に行政はお金を援助してほしい。どんな活動をしているのか現場に来て現場の声に耳を傾けてほしい。
 - こういった木育大交流会をぜひ毎年してほしいです。毎年は無理でも、何年かに1回もいいです。
 - 行政には、もっと森での子育てにお金をしてほしい。お金じゃなくても具体的に…、国有している森や、県・市の保有している森を開拓してほしい。

参加者申込者

1日目 438名（うち、子ども191名）

2日目 305人（うち、子ども138名）

参加者申込者の居住地別人数

岐阜内

岐阜市	56
美濃加茂市	55
多治見市	53
土岐市	21
可児市	16
関市	16
各務原市	15
郡上市	14
大垣市	12
高山市	12
不明	10
八百津市	7
瑞穂市	6

愛知県

豊田市	62
七宗町	2
御嵩町	2
笠松町	1
神戸町	3
白川村	3
富加町	3
中津川市	3
羽島市	3
飛騨市	3
瑞浪市	3
本巣市	3
揖斐川町	2

長野県

飯田市	3
長野市	1
葛城市	5
権原市	2
河合町	1
桜井市	1
生駒市	1
下市町	1
奈良市	1

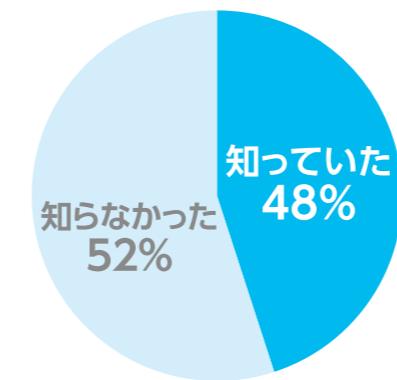
その他県外

静岡県浜松市	5
鳥取県鳥取市	5
滋賀県高島市	4
京都府京都市	4
宮崎県都城市	3
東京都足立区	1
千葉県市川市	1

参加者アンケートの結果

アンケート回答者数：57名

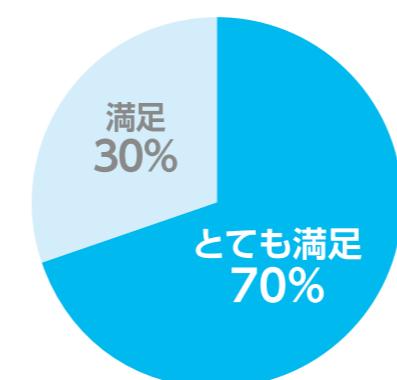
Q: 「ぎふ木育」という言葉を知っていましたか？



Q: 「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して行っている「ぎふ木育」の取組みのうち重要だと思うものはどれですか？（複数回答あり）

- ①木育教材や木製品の購入費の補助 … 7
- ②幼稚園・保育園・小中学校等での出前授業 … 23
- ③木育指導者育成のための研修会 … 27
- ④木育体験イベント … 26
- ⑤常設の「木育ひろば」の設置 … 27
- ⑥木育実践者の交流会 … 23

Q: 「ぎふ木育大交流会」参加してみて満足度はどの程度ですか？



Q: 上記以外で必要だと思うことは？（抜粋）

- 「自然の家」等の宿泊研修施設の精神を引き継いだ民間宿泊施設への援助
- 森のようちえん、森の小中学校、プレーパークが県立に
- 森のようちえんの認証制度。プレーパークの大普及（小学校区に1つはほしい）
- 森のようちえんやプレーパークへの補助
- 森のようちえんも幼児教育に選択肢の1つにすること
- 森のようちえんの認知を高めるための広報活動
- 森のようちえんや自由な小学校に通うための金銭的な補助がほしい。移住促進にもつながると思います
- 火や水が使えるように森を開放すること
- 森での遊びの場のスタッフの育成、フィールドの確保
- 森林公園の整備（崩れてしまった橋を直してほしい、使われていない小さな小屋を使わせてほしい）
- 年齢決めず、たごっこパークのような場。子どもが自分の足で行け、常設である場
- 子どもが育つうえで何が大切なのか、行政、市民、議員ともに継続的に学ぶ場が必要